

第 403 回市（入札日 2017 年 2 月 24 日）

— ナラ・メジロカバ・ザツカバなどの良材に高値も、やや落ち着いた雰囲気 —

主力のナラやメジロカバが少なかったことから、前年同月比で $1,077\text{m}^3$ (25.8%) の減となったものの、前回市で示された目標を上回る $3,098\text{m}^3$ の出品がありました。ナラやメジロカバの良材には 20 万円を超える値がついていました。ナラ良材にはウISKY樽用、メジロカバ良材には突板用などに買いが入っているようでした。大径材が目立ったザツカバにも 10 万円を超える玉が散見されました。マカバには、通常ならばメジロカバとして出品されるような玉が多く含まれ、実際、ふだんメジロカバを扱っている買い方さんたちの入札が中心でした。ケヤキやスギなど、この市ではあまり見掛けない樹種の出品もみられましたが、あまりいい値はつきませんでした。元落ち率は 2.3%と依然低水準であったものの、シーズン終盤に近づき、少し落ち着いたようなものが感じられた市でした。

次回（第 404 回、3 月 31 日）は、官材の出品はないそうですが、ロシア産ナラ・タモが出品される予定とのことです。

○出品数量

官材・単 桧	432.5 m^3	520 桧	1,080 本
官材・ロット	94.1 m^3	22 桧	526 本
民材・単 桧	2,185.3 m^3	2,489 桧	6,459 本
民材・ロット	386.8 m^3	47 桧	2,461 本
計	3,098.6 m^3	3,078 桧	10,526 本

（樹種別）

タモ 348.5 m^3 ・1,103 本、マカバ 157.4 m^3 ・426 本、セン 230.1 m^3 ・596 本、ナラ 799.1 m^3 ・2,655 本、ニレ 109.9 m^3 ・299 本、キハダ 15.5 m^3 ・45 本、クルミ 33.7 m^3 ・142 本、アサダ 23.4 m^3 ・100 本、ホホ 75.9 m^3 ・445 本、エンジュ 20.6 m^3 ・186 本、カツラ 111.5 m^3 ・228 本、ザツカバ 164.7 m^3 ・458 本、シュリ 20.7 m^3 ・78 本、イタヤ 95.5 m^3 ・379 本、サクラ 24.6 m^3 ・100 本、シナ 220.8 m^3 ・717 本、メジロカバ 405.9 m^3 ・1,556 本、ウォールナット 28.1 m^3 ・23 本、アオダモ 5.7 m^3 ・59 本、その他 168.7 m^3 ・817 本（広葉樹計 3,060.4 m^3 ・10,412 本）イチイ 5.5 m^3 ・80 本、アカエゾマツ - m^3 ・-本、クロエゾマツ 24.9 m^3 ・24 本、その他 7.8 m^3 ・10 本（針葉樹計 38.2 m^3 ・114 本）

○販売数量 3,025.1 m^3 （元落ち率 2.3%）

○販売金額 1 億 3,437 万円（1 m^3 あたり平均 44,420 円（前回 53,069 円））

○主要樹種の平均単価（1 m^3 あたり、カッコ内は前回）

タモ	40,424 円（40,669 円）	キハダ	36,754 円（66,633 円）
マカバ	59,940 円（226,702 円）	カツラ	31,043 円（42,572 円）
セン	42,826 円（67,658 円）	ザツカバ	40,166 円（35,233 円）
ナラ	61,208 円（57,997 円）	メジロ	53,027 円（55,076 円）
ニレ	17,367 円（22,329 円）	ロット	22,836 円（26,188 円）

○高値（1 m^3 あたり、外材・イチイ・エンジュは除く。）

- ① 449,000 円（セン 4.0m、48cm、1 本、0.922 m^3 ）
- ② 352,900 円（ナラ 2.0m、98cm、1 本、1.921 m^3 ）
- ② 326,900 円（メジロカバ 3.2m、42cm、1 本、0.564 m^3 ）

2016 年 3 月 7 日作成（嶋瀬）